

令和7年度 第1回「プロジェクトマネジメント研修カリキュラム開発分科会」報告

1 日時 令和7年 6月25日(水) 15:00～17:00

2 場所 産業技術短期大学校 西館棟(西キャンパス)特別教室5

3 分科会委員

(座長) 筒井 潔	アジアパシフィックコーポレーション(株)
丹羽 良和	日産自動車(株)
高橋 哲也	ポリテクセンター関東
土屋 春香	日本ディクス(株)
斉藤 光弘	神奈川県立産業技術総合研究所
加藤 勝彦	(株)キャリアサポート湘南
菅原 征江	(株)クボテック
神馬香代子	(株)アイ・ディー・エクス
旭 馨	神奈川大学
伊藤千珠代	オフィス マウミ
小山 宏	西部総合職業技術校
田村 守	横浜経理専門学校
人材育成支援センター(事務局)	
田中 暁	人材育成支援センター所長
酒井 博之	〃 職業訓練推進員
津久井二郎	〃 主査
植村 道忠	〃 人材育成コーディネータ

*分科会委員の出欠

出席者： 筒井座長、丹羽委員、土屋委員、斉藤委員、神馬委員、伊藤委員、小山委員
(人材育成支援センター 田中、酒井、津久井、植村)

4 内容

ア 本分科会について

令和6年度に実施した「かながわ人材育成推進企業ネットワーク」会員企業による「人材育成に係るニーズ調査」及び「試行講座アンケート」により、リスクマネジメントを含むプロジェクトマネジメントに焦点を当て、計画立案、進捗管理、チームマネジメントによる目標達成率向上を目指すマネージャーを対象とした研修カリキュラムを開発するために本分科会を設置しました。

本日(6/25)を第1回として、11月まで計6回を予定しておりますし、出来上がったカリキュラムや資料やワークシートを用いて、12月には試行講座を開催する予定です。本分科会の委員には、配布しております名簿の通り12名の方をお願いしており、座長としてアジアパシフィ

ックコーポレーションの筒井 潔様にお願いしております。事務局は、植村と津久井、酒井が担当させていただきます。

普段の連絡については、委員全体への場合BCC、各委員については通常メールにて行います。

次回は7月22日（火）になります。予定をお願いいたします。

イ 座長の紹介について

公共政策と経営コンサルタントファームのアジアパシフィックコーポレーション(株)代表取締役社長で、これまで外資系メーカー、知財系企業、財団法人技術顧問、東北大学金属材料研究所、技術コンサルティングファーム創業者、海野世界戦略研究所代表取締役会長、UK-Japan Corporation会長など歴任。天然ガスパイプライン、原子力発電ベンチャーなどのコンサルティング。他、国内地域開発プロジェクトの取り纏め、インドネシア、スリランカ、カザフスタン、ベトナムなどの政府依頼対応など多くのプロジェクトに精通しておられます。なお、東京大学生産技術研究所並びに先端技術研究所協力研究員、現在慶應義塾大学共生知能創発社会研究センター研究員をされています。

ウ 研修プログラムの基本について

最初に開発コンセプトとして、講座名や研修のねらい、研修対象者、研修目標、チェックポイント、2日間コースの研修、講義と個人・グループワーク、1日目と2日目のカリキュラムなどのプログラム構成を検討してもらいます。イメージ作りのために例示してあります。

①開発コンセプト

- ・狙い：リーダーのあり方について学ぶ（プロジェクトの成否は、最後はトップ次第）。リスクマネジメントからレジリエンスマネジメントへ（レジリエンスの基礎知識を習得する）。政産官連携プロジェクトについての考え方の基礎を学ぶ。
- ・研修対象者：プロジェクトの実施者、発注者などプロジェクトの組成、発注、実行に関わる人。研修、教育担当者、人事総務、管理職、経営者。
- ・研修目標：プロジェクトを企画、組成、実行しようとするときに、何を考えればよいのかを学ぶ。
- ・チェックポイント：時代の変化を感じることへの興味を促す。AIだなんだといっても、ビジネスは人がやるものであるという事実への再認識を促す。

②プログラム構成

<1日目>

1. プロジェクトとは何か（3時間）

- ・「コンセプト、プログラム、プロジェクト」の3点セット
- ・リスクヘッジからレジリエンスマネジメントへ

2. プロジェクトの要素について（3時間）

- ・戦略（魅力）、技術（モノづくりと事業）、人（プロジェクトリーダー）

<2日目>

3. ケーススタディ（3時間）

- ・経済理論とビジネスの関係について
- ・失敗の本質について

4. 演習（3時間）

- ・チームによる仮想プロジェクト組成

エ 一般的プロジェクトマネージャー（プロマネ）の役割について

- ・プロマネの3指標：品質、費用、納期
- ・プロマネの仕事：目標設定、計画策定、予算管理、人的管理、資源・材料管理などのトータルマネジメント（リーダーシップ&マネジメントスキル）
- ・プロマネの知識：方針・目的明確化、中間目標の設定、品質管理、進捗管理、リスクマネジメント、ステークホルダー管理、調達管理、コストマネジメント、コミュニケーション力、問題解決力、リーダーシップ力、マネジメント力。

オ 意見交換

“やる” ことについて

- ・面白くないことは人はやらない。
- ・やるべきときにやるべき人がやる。
- ・プロジェクトは3人から始めればよい。
- ・3.11の遺産とは、想定外とは想定外ではなく必然。
- ・マーケティング要素も入っているようだ。
- ・大きなプロジェクトがなくなってきた理由：長期金利のシステムがなくなり（日本長期信用銀行が無く、日本興業銀行もなくなった）、米国から借り入れることもあった。
- ・AIとコミュニケーションについては、観念性理論が整理されていない。

カ 次回（第2回）について

（日時）令和7年7月22日（火）15:00～17:00

（会場）産業技術短期大学校 西キャンパス特別教室5

（内容）「研修プログラムの基本」の構築

①開発コンセプト

②プログラム構成

（資料2）をイメージにオリジナルを考える。

以上